

この道究め 功績に光

秋の叙勲



瑞宝双光章

看護業務功労

ひらおか すい
平岡 翠さん(64)

患者との時間を大事に

名古屋市立大病院(瑞穂区)に一九七九年から約四十年間、看護師として勤めた。子どもが入院する小児関係の病棟が長く、「患者との時間を大事にしよう、という気持ちで常に重視してきた」と振り返る。

看護の道を志したのは、中学時代に父親が腸閉塞を患った際、真剣に対応する看護師の姿を見たことだ。同大看護学校(当時)を卒業し、同大病院に。子どもが好きで、小児関係の病棟を希望した。

小児がんや心臓病など重い病気の子どもの多かったが「けなげに闘病する子どもは大人以上に強いな、と感じた」。退職までの六年間は看護部長として、若い看護師が看護の理想を見つけられるよう、コミュニケーションしやすい職場づくりに努めてきた。

今回の叙勲は「大変ありがたい。名市大病院全体としていただいた気持ち」と喜んだ。

(天白区植田東)